


## 企画事業 「環境教育に関する事業」

事業名	「サンゴの海に学ぶ」環境教育セミナー② とかしき島環境フォトフェスタ	
実施期間	平成22年3月6日(土)～7日(日)	
担当者	企画指導専門職 黒島 直人	

### I 事業の趣旨

サンゴの海を通して、青少年に人間と環境の関わりを考える機会を提供し、持続可能な社会実現に関われるよう環境保全意識の向上を図るとともに、自ら主体的に取り組む機運などを醸成する。本事業では、渡嘉敷島をモチーフに「環境」をテーマとした写真作品の創作をとおして、環境保全意識を高める。

- ③ 写真展示・講評会
- ④ 実技実習「撮影会2」
- ⑤ グループワーク「とかしき島良いトコ VS 悪いトコ」
- ⑥ フォト展示会の準備・実施
- ⑦ フォトコンテスト表彰式

### II 事業の概要

#### 1 事業の目的

渡嘉敷島の自然・文化をモチーフとした芸術作品の創作を通して、環境問題についての意識を高め豊かな感性をはぐくみ、作品展示会の実施によりその成果を広く発信する。



【畑仕事を手伝いながら、パチリ】



【参加者に問いかける浦本寛史先生】

#### 2 参加対象及び募集人員

高校生・大学生・専門学校生 30人

#### 3 参加状況

男性6名、女性12名

高校生・・・12人

指導者関係等・・・6人

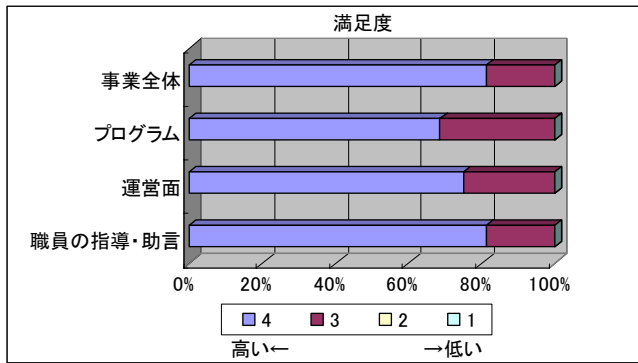
#### 4 事業内容

- ① 写真教室「写真はメッセージ」
- ② 実技実習「撮影会1」

#### 5 実施上の留意事項

- ① コンセプト：「とかしき島【良いトコ VS 悪いトコ】 Take a Photo !」
- ② 身近な環境問題から地球規模での環境問題を考える契機とする。
- ③ 環境に関する創作活動を通して環境保全の意識を高め、日頃の生活を振り返る機会を設ける。
- ④ 完成作品の展示会を実施して、事業の成果を広く発信するとともに、環境保全への理解啓発を促進する。
- ⑤ 渡嘉敷島の風景や建物をモチーフにして、「いつまでも残したい風景：良いトコ」と「環境によくない風景：悪いトコ」の写真を対比してコメントを付ける形式でコンテストを実施する。その活動をとおして、参加者の環境保全意識を高める。
- ⑥ 参加者の写真撮影がスムーズに運べるよう、地元渡嘉敷村との連携協力を図る。

## 6 アンケート結果



### 《良かった点》

- 渡嘉敷島の美しい自然を見られたし、写真の勉強ができた。本当に楽しくて内容も濃くてたくさん勉強になりました！
- 他校とも交流できたし、撮影場所も充実していたし、みんなのプレゼンとかいろいろあって、勉強になることがたくさんあったので凄く満足です。環境も考えられたので良かったです。
- 充実したプログラムでこの2日間濃い内容で良かったです。
- 講義、撮影、ワークショップのバランスが良い。
- 写真の勉強会がとてもためになった。本当に良かったです。勉強になりました。
- 渡嘉敷島が好きになった。渡嘉敷が大好きだー。
- とにかく楽しかった！！今度は自分たちで企画して渡嘉敷来ます！！！！
- 大自然を舞台に泊まりの撮影というのをあまり経験したことがなく新鮮で楽しかったです。
- 新たな写真文化の活路が開けた。
- 心暖かい人達にふれることができてとても良かったです。

### 《改善すべき点》

- 2日目の天気良く撮影できたら満足。
- 自由時間がもう少し欲しかった。
- もっと撮影会と自由時間が欲しい。
- 1泊2日では少し足りない気がした。
- 少しくだぐだだった。
- (改修工事で)設備が少し不便でした。
- 日帰りしたいかも知れません。



【ベストショットを選ぶ参加者】

## Ⅲ 成果と課題

### 1 事業の成果

- ① 参加した高校生たちは、快晴に恵まれた渡嘉敷島の大自然の中で、自らの瑞々しい感性を全面に出した写真撮影に取り組ませることができた。
- ② 「環境」をテーマにした芸術作品の創出をとおして、渡嘉敷島の自然に親しみ、村民の方々との交流を深める事業となり、本所の新たな企画運営の視点・手法が掴む事業となった。
- ③ 沖縄県高等学校文化連盟写真専門部の後援を受け、高校の写真部員の参加で充実した事業となった。



【最優秀賞作品 「いちやりばちよーでー」】

### 2 今後の課題

- ① 加対象者を大学生・専門学校生にも参加可能として実施した。対象者、開催日の再考および広報活動の見直しが必要である。
- ② サンゴの海をとおした環境教育の実践に取り組む第一歩として、スノーケリング技術の習得を行い、海中撮影ができるよう工夫が必要である。



【展示会場の講演の様子】